米原市議会議員一般選挙公報

令和７年10月19日執行　　米原市選挙管理委員会

人生100年、子は宝！ 住んで良かったと思える そんな米原市を目指します

無所属
山本（やまもと） かつみ
昭和36年5月6日生（64歳）

長年企業で培った
コンプライアンス意識と倫理観を持って
ハラスメントの撲滅！
北陸新幹線は米原ルート！
鉄道の街がよみがえる。

1. 災害に強い安全・安心のまちづくり
☆二度と起こさない土砂災害
☆伊吹山・霊仙山系の環境再生
☆防災・防犯に強いまちづくり

2. 生きがいと希望のまちづくり
☆子育てしやすい環境づくり
☆高齢者の活動支援
☆誰一人取り残さない

3. 産業振興のまちづくり
☆これから注目すべきは農林水産業
☆脱炭素事業は未来の米原を築く
☆ハブステーション米原は交通政策のかなめ

4. 文化・スポーツ・観光のまちづくり
☆オールシーズンスポーツで賑わう環境
☆観光は広域で連携強化
☆芸術で育む絆

5. 秘めたポテンシャルを活かすまちづくり
☆米原駅周辺から始まるイノベーション
☆発展の著しい中部圏域との接点を活かす
☆進化する行政サービス

プロフィール
- 柏原小・中学校、米原高校 卒
- 愛知学院大学商学部 中退
- 国鉄を経て近江鉄道系近江タクシー（株）管理職にて退社
- 現在は滋賀県タクシー乗務員登録養成専任講師を務めるかたわら公共交通コンサルタントとして全国各地を飛び回る
- 平成16年米原町時代から開始した「まいちゃん号」の育ての親であり、県内各地のデマンドタクシーの路線を担当した経歴を持つ公共交通オタクでもある。
- 現在3期目～議長
- 妻、2人の娘、母と同居

安心！希望！絆！

～ 安全・安心で住み続けたい米原をめざして ～

無所属
すどう正明（まさあき）
昭和三十四年五月十七日生

明日の米原をともに創りましょう！

安全で安心して暮らせる！米原づくり
安全で快適な住環境づくりに努めます。

将来に希望のある明るい！米原づくり
安心して子育てができるやさしいまちづくりに努めます。

助け合いの絆で豊かにつながる！米原づくり
地域での絆を大切にし、豊かで賑わいのあるまちづくりに努めます。

豊かな自然を守り災害に強い！米原づくり
ふる里の資源をしっかり守り育てるとともに、防災力の強化を図り災害に強いまちづくりに努めます。

すどう正明 プロフィール
顔戸で生まれ、顔戸で育ちました
現 天の川沿岸土地改良区 副理事長

● 主な経歴 ●
《元 米原市職員》
・近江市民自治センター長
・坂田駅前まちづくり委員会事務局長
・国県対策室長
・地籍調査事業を担当
担当した自治会／新庄、箕浦、顔戸、高溝、世継、入江、上多良、西山
《元 天の川沿岸土地改良区職員》
・滋賀県営ほ場整備事業の換地業務を担当
担当した工区／世継、高溝・顔戸、能登瀬、番場
《元 顔戸・人と環境を守る会代表》
・世代をつなぐ農村まるごと事業に取り組みました

無所属
杉江（すぎえ） 秀文（ひでふみ）

まず、前回投票していただいた1,388名、お一人おひとりに会ってお礼が言いたいです。しかし、そんなことはできませんので、このような形でのお礼とさせていただきます。
「**杉江秀文**と書いていただき、本当にありがとうございました。嬉しかったです。感動しました。」
体育館いっぱいの人が、がんばれと応援してくださっていると思うとじっとしていられませんでした。
選挙活動は、今回も選挙公報のみとします。前回に引き続いて「（ほぼ）0円選挙」自分のお金も米原市のお金（選挙運動の公費負担・税金）も使わないで挑戦したいと思います。変わり者です。
朝、知に行くと、まず夏野菜の収穫をします（9月頃）。その後、水やりをするのですが、収穫をしたはずなのにいのが残っていることがあります。見る角度が変わるだけで見えなかったことが見えることがあります。
変わり者も似ているかもしれません。
ちなみに今回の選挙にかかった費用は、供託金（30万円）戸籍抄本（350円）白黒写真2枚（2,380円）、公報データ作成（8,000円）合計310,730円です。（供託金は、条件が合えば返還されることがあります。）もちろん、負担金（米原市民の税金）は、0円です。負担金は、公職選挙法で認められています。他の方の負担金も知りたい気がします。
ポスターも作りません。ポスターが貼っていないところが**杉江秀文**です。
よろしくお願いします。
「仏の顔も三度」という言葉は、知っています。「　ごさげんよう。はいたらね！」

私が実現したいこと、まずは、この3つです。
1　北陸新幹線「米原ルート」
2　米原市の人口減少に備える
3　自然災害に備える

1. 米原市に住んでいる者にとっては、何と言っても北陸新幹線「米原ルート」の実現です。
今、風が吹いています。流れが変わってきています。京都は、問題が多く、反対の民意が出ています。
京都の民意は、「米原ルート」です。
南海トラフ巨大地震（発生が2035±5年という説も）・富士山噴火・首都直下地震等いずれもいつ起こってもおかしくないと言われています。自然災害が起こった時の代替ルートとして、東京と大阪を繋ぐ新幹線は、多くの方が必要と言っていますが、災害が起こってから作っていては間に合わないのです。もしも、これらの大災害が起こると復興までに数か月・数年かかります。元通りに復興できない場合もあります。東海道新幹線が、長い間止まってしまうのです。もしかすると「米原ルート」も間に合わないかもしれません。しかし、「米原ルート」は、他のルートに比べると早く安く（税金が少なく）作れるのです。他にも作りたい新幹線があります。費用対効果も1を超え、作る値打ちがあるのです。いろいろな費用が高騰することが予想される今、できるだけ早く着工して欲しいと思います。そこで、地元、米原市議会でも「米原ルート」を条件付きで決議するのです。条件の一つは、北陸本線と滋西線の現状維持です。二つ目は、滋賀県の負担をなくすことです。これらを、三日月知事も認めてくれるはずです。

2. 人口が減るということは、税収が減るということです。そこで、取り組むことは、議員定数を減らすことと選挙の在り方を変えることです。過去の定数を見てみるとおよそ4年ごとに2名減っています。また、公職選挙法では、認められていることですが、例えば、選挙ポスターをやめ、選挙公報と米原市のホームページのみにするのです。そうすることだけでも、2名分の議員報酬やポスターの負担金（立候補者数分）、設置費用、撤収費用が不要になります。米原市のしたことが、よい・面白いと評価していただき、同様の動きが日本中に起これば、米原市がファーストペンギンになるのです。他の自治体が真似るのです。日本が変わります。

人口減少は、他の市町でも起こっているのですから、人の奪い合いをするのではなく、本当に魅力的な米原市にすることで、観光に訪れる人が増えたり、趣味を楽しむ人が増えたりします。その結果、雇用が生まれたり、税収が増えたりします。例えば、柏原宿や醒井宿から電柱をなくし無電柱化（息根にもあります）するのはどうでしょうか。雰囲気・景観が変わるだけでなく防災とも安全性が高まります。新しくできる住宅地も無電柱化するのはどうでしょうか。安全性を高め、住宅地の価値を高めます。米原市が、頑張っている人や施設を応援するのです。
さらに、米原駅前を、米原市が予算を付けて継続的に美しくするのはどうでしょうか。庄堺公園のように薔薇が咲き乱れる公園にするのはどうでしょうか。「たるかり」と思わせる・思わず「たまるか！」と言ってしまう様にしたいと思いませんか。魅力的な街になることは、住んでいる米原市民にとっても愛着がさらに湧き、誇りに思えるようになると思います。
私は、近鐵の年の3月11日にステーションワンの上の緑地公園に桜の木を一本植えさせていただきました。緑地公園に、米原市が毎年10本、10年植え続けたら、100本、毎年100本（クラウドファンディングも）、10年植え続けたら1,000本、米原の千本桜ができます。花の季節になったら、新聞やテレビのニュースになります。カメラを持った人がやって来ます。家族連れがやって来ます。「米原ルート」が完成したら、花を見に米原駅で降りできます。妄想が止まりません。こんなことが起こったら面白いと思いませんか？吉野の千本桜もマキノのメタセコイアも最初は、志・思いを持った人が植え、代々、地域の人が大切に世話をされてこられたと思います。米原でもきっとできると思います。新しい名所を作りましょう。面白いことが好きな人が沢山いたら実現するかもしれません。

3. まいばら魅力発見（伊吹山の未来をつなごう）に参加してきました。シカの獣害柵をみんなで協力して設置したり、伊吹山の植物のお話を聞いてきました。伊吹山は、裸地が多くなり、随分変わっていました。大雨が降ったらと思うと麓に住んでおられる方々のことが心配になりました。土石災害の対策として、まず、シカの食害を継続して防止すること。次に、土石災害は、規模が大きく滋賀県と米原市だけでなく、今後は、国へも自然保護・治山事業として強く協力を呼び掛けていきたいと思います。野生のシカは、人間を恐れると言われています。伊吹山の登山道が整備され、安全に登れるようになり、また、たくさんの人に登ってほしいと思います。
また、南海トラフ巨大地震も心配です。災害時には、共助（地域力）が大切です。地域の防災意識・防災力を高めるため、防災士養成講座を、毎年、米原市役所で開催し、米原市の防災士を継続的に増やしたいと思います。何と言っても、災害時に一番困るトイレ問題を解決するために、広域避難所（原則、住民による自主的運営・トイレも）にトイレトレーラーを設置したいと思います。携帯トイレ等を個人で備えるには、限界があります。トイレトレーラーは、平常時、イベントや他の被災地支援で活用します。高額ですが、1台つつ購入していけば可能です。その時が来てからでは遅いのです。今から、非常時に備えて対策をすることが必要だと思います。

自己紹介：1956年生まれ　元小学校教諭、元米原区長、防災士、将棋2段、米原市子ども・子育て審議会委員、滋賀県国民健康保険運営協議会委員、入江千拓土地改良区理事、赤十字奉仕団（尊敬する大先輩に勧められ、参加しました。）シルバー人材センター会員
湯谷神社　宮総代（今年から宮総代。年下の先輩方に厳しく、優しく、丁寧にご指導いただいています。知らないことを知る毎日です。）　泉寿寺　門徒総代（一番年下です。）
第7回ご当地クニクニはんコンテスト 準グランプリ受賞（チームの一員として参加）
今見たいものは、『阪神VS日本ハム』の日本シリーズです。
好きな言葉「喜外著天」　愛読書「将棋の基本 駒別手筋事典」（友人の勧め）
愛犬「ちゃたろう」も1歳になりました。（今年の夏の暑さには、少しまいっています。）

無所属
山本やすひろ
1975（昭和50）年 7月生（50歳）

ワクワクする未来をみんなと創る！

今の米原市が好き！
人口が減っても、温暖化が進んでも、10年・20年後の米原市の人や暮らしや自然が今のままであり続けられるにはどうしたらいいか、みんなで一緒に考え、ともに行動していきましょう！

地域に根ざしたお店が増えるといいな！
米原の自然や伝統文化、空き家や休耕田などの地域資源を活かした起業をしやすい風土や制度づくり、みんなで助け合えるローカルビジネス環境を整え、挑戦したい人を全力で応援します！

今の社会に息苦しさを感じています…
何かと精神的ストレスが多い現代社会。同じ悩み・苦しみを抱えておられる市民は他にも大勢いるはず！まずは気軽につながれる場所や仕組みをつくって、共感の輪を育み、仲間づくりをしつつ、対話の中から改善できるところを見つけて少しずつ変えていきたいですね。

活動の様子や理念・政策等をSNSで発信中！

5つのポリシー
① **弱者にやさしい街に！**　子育て世代や高齢者、様々な課題を抱えた子ども達も安心して集える地域に根ざしたコミュニティづくりに取り組みます。
② **ものから人、ことへ！**　地域を良くしようと頑張っている人・活動を多方面から応援。古き良き伝統文化を引き継ぐ仕組みを作ります。
③ **子育てしたくなる街に！**　米原市の未来を担う子どもたちの数が増え、育ったまちへの愛着が深まるよう、子育て世代や子どもたち自身の声を聞き、魅力あるコンテンツを育みます。
④ **スモールビジネスを応援！**　まちの活気は、お店や企業の数に比例するもの。市内で経済が小さく循環しやすい仕組みを考えます。
⑤ **米原市のポテンシャルを引き出す！**　持ち前の自然や歴史文化、交通の便の良さ、様々な人財などが効果的に共有化・マッチングされ、それぞれがお互いを活かしきれるまちづくりを進めます。

プロフィール
1975年　米原市柏原生まれ
　柏原小学校・柏原中学校 卒業
　滋賀県立彦根東高校 卒業
1999年　神戸大学 工学部 建設学科 卒業
2001年　神戸大学大学院 自然科学研究科 建築学専攻 修了
2001～2012年　安井建築設計事務所勤務
2012～2018年　住友不動産・華建築・ハナデザイン勤務
2019年　ji-mo design開業
2023年　ジーモデザイン株式会社設立　現在に至る
【資格】一級建築士　【家族】妻、長女（高1）、長男（高1）
【趣味】まちづくり活動、いけ花、スキー、自分磨き
【役職】柏原宿活性化実行委員会 魅力創出部会長（2021～2024）
　柏原ラベンジャーズ リーダー（2024～）
　地域プロデューサー養成「おうみ未来塾」運営委員（2023～）ほか

12年間の議員活動を活かし、初心を忘れず市政に取り組みます。

無所属
吉田（よしだ） 周一郎（しゅういちろう）
昭和二十三年九月二十一日生

吉田周一郎　プロフィール
■ 米原市枝折　在住
■ 醒井（現河南）小学校　河南中学校
　彦根東高等学校卒業
　滋賀県立短期大学農業土木科卒業
■ 滋賀県庁勤務　土木技術者として従事し、平成21年3月退職
■ 地方共同法人　日本下水道事業団
　滋賀事務所勤務
　平成25年3月退職
■ この間、枝折区長　代理区長を歴任
■ 米原市市議会議員
　（平成25年11月から3期）
　（3期目4年間の主な職歴）
　・総務産業建設常任委員会委員長
　・議会運営委員会委員等
■ 資格　技術士（上下水道部門）
　一級土木施工管理技士
　第2級陸上特殊無線技士　他

■ 市民の声で市民のためのまちづくり
＊中断しているJR東海3駅のバリアフリー化に取り組みます。

■ 安心・安全なまちづくり
＊「地域医療」の在り方・充実に向けて取り組みます。
＊伊吹山や霊仙山の山腹崩壊を防止し、砂防えん堤等の対策に取り組みます。

■ 子どもや高齢者にやさしいまちづくり
＊市民の皆さんが気軽に集えるグラウンドゴルフ場等の整備に取り組みます。

■ かけがえのない環境を守るまちづくり
＊「びわ湖の素」米原を次世代に引き継ぐため、「環境こだわり農産物」の普及促進に取り組みます。

■ 更なる財政の健全化を目指して
＊選択と集中による効率的・効果的な施策をさらに進めます。

教育の現場で35年 子どもの命まもります

日本共産党
山脇まさたか

『市民アンケート』で7割以上
「くらし向きが悪くなった」の声にこたえて

○国保税、介護保険料の値下げを
○地域医療の強化を
○見守りサービス、デイケアを増やすなど高齢者福祉の充実を
○台数確保、運賃補助など まいちゃん号の運用改善を

医療・福祉を最優先

◇学校給食費を無料に
◇保育所、子ども園の副食費を無料に
◇希望通りの保育施設への入園を
◇放課後児童クラブへの加配や支援員の増員と安全な環境を

子育て一番の市政

●みなさんの声をもとに、ともに市政を動かし実現！
・国保税の子ども均等割の無料化
・中学生に6万円の入学支援金を支給など

◆消費税はただちに減税を

◆1954年生まれ、早稲田大学法学部卒、同大学院修了◆市議２期、現在副議長 ◆1992年から2014年まで坂田小、息長小で教諭

無所属
川北勝平（しょうへい）
昭和五十一年五月二十五日 49歳

政策を支えるのは財源
米原にお金が巡る仕組みを創る

無所属
矢野邦昭（やのくにあき）
昭和二十六年五月二十八日生まれ

この度、地域の皆さまの大きなご支援をいただき、立候補させていただきました。引き続き「元気で住みよいまち米原市を!!」を活動方針に、今日までの行政と議員の経験を活かし、誠心誠意頑張ってまいります。

★伊吹山・霊仙山から琵琶湖への自然と歴史を活かし、東京から2時間、大阪から40分の利便性を活かした
元気で住みよい米原市を！！

安心な暮らし、良好な住環境、豊かな自然が持続できる仕組みや制度についてみんなで考え、みんなの声を市政に反映していきましょう!!

この4年間に取り組む私の目標は

災害から市民の生活と財産を守ります。
（伊吹山・霊仙山の再生、道路・河川・建物の強靱化を推進）

交通の要衝を活かした政策を推進します。
（産業用地の造成と企業誘致の推進）

豊かな自然や伝統芸能を守り観光振興に活かします。
（豊かな自然を守り、文化財や歴史文化の保存と活用を推進）

矢野邦昭のプロフィール
◆S26年生まれ（卯年）
◆大原小学校・大東中学校・長浜北高等学校・県立短大卒
◆S47　長浜市役所都市計画課職員
　下水道課長　総務課長
　H21　都市建設部長
　H23～H27　市立公民館長
　市立西黒田・北郷里公民館長
◆H28　朝日区長
　H22　朝日農業組合長　農業委員
■現在　姉川沿岸土地改良区理事
　山東花道協会長
■議員として
　元米原市議会議長・元副議長、元湖北消防組合議会議長・元湖北広域行政事務センター議会副議長
■現在　米原市議会議員

※この選挙公報は、米原市選挙公報の発行に関する条例に基づき候補者が掲載申請をした原文のまま写真製版により縮小して掲載したものです。
※選挙公報の音声版については、市選挙管理委員会までお問合せください。　米原市選挙管理委員会　電話 0749－53－5168